SUBARUドリフト天国

市販キットで武装した身近なドリフトマシンを…

昨年後半、熊久保選手よりD1インプレッサの開発に関して相談が舞い込んできた。「支配人から聞いた時はビックリしました。チューナーとしての立場から言えば、ぜひ挑戦してみたいんですけど、チーム員としての感覚もあるので色々と考えました。2~3年の長いスタンスで開発できるなら話は変わってくるんですけど、やっぱり、1年目から結果を出さなきゃ行けない。そうなってくると、やはり水平対向の実績が問われてくるので、ノウハウのあるJUNオートメカニックさんがいいんじゃないか……とアドバイスしました」

これは大木氏にとって苦渋の決断だったことだろう。こうして熊久保選手の1号車の開発は小山進氏率いるJUNオートメカニックに託される。が、今度は田中選手より2号車開発のプランが浮上。

「ゼロからのスタートではなく、JUNさんでJUNオートメカニックのノウハウを共有できるし、ボディワークはシムスレーシングさんが担当してくれる。それにドライバーはずっとダッグを組んできた田中選手ですから、うちでチャレンジさせてもらうことになりました」と大木氏。

こうして、ドラッグレースからドリフトの世界へ活動の場を広げたテックスモディファイは、それまでの日産車からスバル車に素材を換え、インプレッサで新たな挑戦を開始することになった。

残念ながら、シムスレーシングでボディワークの開発が続けられていたため、7月上旬の取材段階ではその現車を見ることができなかった。が、テックスモディファイの大木氏はすでにそのプランを固めている。

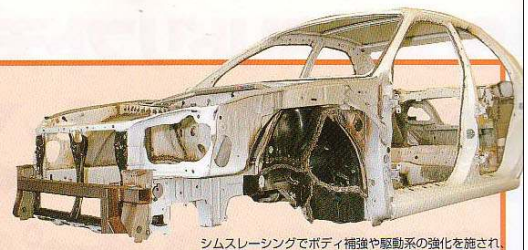
「本当は色々とやりたいことがあるんですけど、製作時間の関係もありますから、最初は市販キットでコーディネイトすると思います。ミッションもノーマルで、冷却パーツに関してもサブラジエターを搭載するぐらい。大幅な構造変更もしないので、田中選手が言ったように、JUNオートメカニックさんのクルマと違って、ストリートに近い状態に仕上がると思いますよ」とのことだ。

具体的には熊久保選手の1号車と同様に、JUNオートメカニックの2・5ℓキットで排気量をアップするほか、ブリッツのタービン、HKSのコンピュータ、フジツボのマフラーを組み合わせることで約450ps、50kg・mのスペックを想定。足回りは圭オフィスプランニングの車高調キット、クスコのアーム類で煮詰められ、ARCのインタークーラー、ORCのクラッチが装着される予定となっている。もちろん、外装に関しては1号車と同様にマック製のエアロパーツが装着される予定で、「第6戦の富士スピードウェイの頃には新しい顔にしたいですね」と田中選手が語るように、シリーズ終盤にはスプレッドウイングスタイル採用の新型マスクになる予定だ。

なお、シムスレーシングから車両が引き渡されるのは7月14日なる見込みで、そこから開発に着手。そのため、当初は第4戦・オートポリスでのデビューを予定していたものの、作業行程を考えるとそのデビュー戦は早くても第5戦のエビスサーキット、遅ければ第6戦の富士スピードウェイにずれ込む可能性がある。

しかし、「いずれにしてもデビュー戦は暫定的なスペックですからね。その後は4連スロットルやツインターボなどを時間を費やして作り込んでいきたいと思いますので、おそらく理想のスタイルになるのは来年の中盤ぐらいになるでしょう」と大木氏も語っているだけに、その後の進化にも注目したい。

支配人の1号車用に開発されたエアロパーツを、当然2号車にも装着。ワイドフォルムになって、とってもかっこいいのだ！



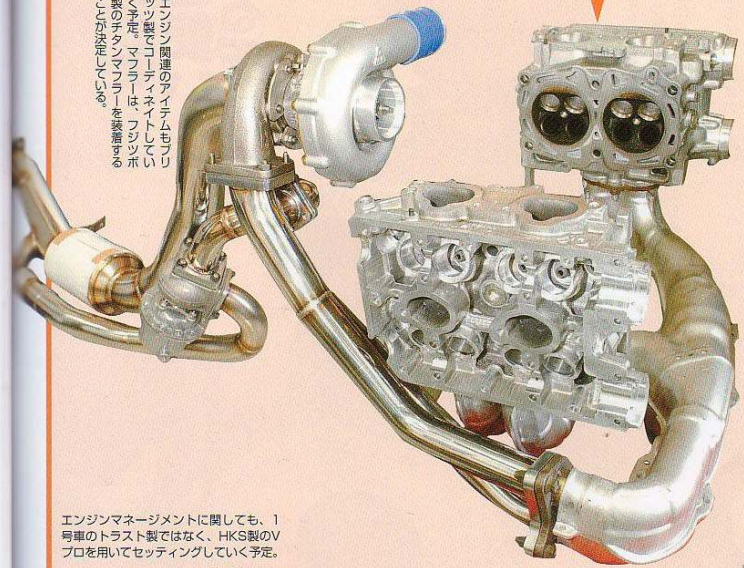
シムスレーシングでボディ補強や駆動系の強化を施され、テックスモディファイに引き渡される。ラリーで培ったノウハウを惜しみなく注ぎ込んでいる。

テックスモディファイのドラッグマシン。このドラッグ技術をインプレッサに注入すれば、D1でも無敵のマシンが完成するはずだ。

デビューしてのF型インプレッサの外装パーツも組み込む方向性で検討中。フロントマスクやリアのコンビネーションランプの移植を検討している。

融合

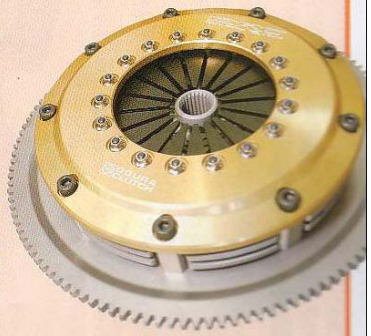
装着パーツ選定中！



エンジン関連のアイテムもブリッツ製でコーディネイトしていく予定。マフラーは、フジツボ製のチタンマフラーを装着することが決定している。

1号車のタービンはトラスト製であったが、2号車はブリッツ製のタービンを使ってパワーアップを図る。将来的にはツインターボまでの構想を持っているとのことだ。

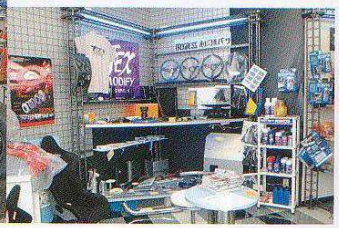
エンジンマネージメントに関しても、1号車のトラスト製ではなく、HKS製のVプロを用いてセッティングしていく予定。



ノーマルミッションをベースに小倉クラッチ製の強化クラッチでポテンシャルを高めていく。

広々とした店内には、各種チューニングアイテムが展示されている。特にエンジン系アイテムが充実しているぞ。

スバル車のファインチューニングも歓迎とのことなので、一度遊びに行ってみよう。



様々なクルマが、信頼できるスタッフたちの手によってチューニング＆ドレスアップされていく。

2号車製作担当のテックスモディファイってどんなお店なの？

TEX MODIFY(PROGRESSIVE WORKS FACTORY)

見た目の印象と異なり!? とっても優しく接客してくれるのが代表の大木氏。これまで日産車＆ドラッグマシンを中心にチューニングを行なってきたが、これからはスバル車&D1マシンにも力を入れていくとのことなので、「SIXSTAR」の読者の皆さんにも楽しみなショップがまた一つ増えたぞ。

以前はタイヤショップだったこともあり、タイヤ交換やドレスアップ系のファインチューニングも大歓迎！ ドラッグ&D1マシンを作らない人でも、テックスモディファイに遊びに行けばモータースポーツに対する意識が変わってくるはずだ。7月16日(土)~18日(日)にはフェアを行なう予定で、熊久保選手のD1インプレッサ、田中選手のS15、さらには製作中の2号車も展示されるはずだ。

●住所：茨城県那珂郡那珂町堤435-16
●電話：029-295-5430
●営業時間：10時~19時
●定休日：水曜日
●http：//www.tex-modify.com

2005年はスバルを応援しよう！

●D1 GRAND PRIX SERIES 2005年間競技予定●

Round1：アメリカ・アーウィンデールスピードウェイ／2月26日~2月27日(終了)
Round2：東京都・お台場特設コース／4月16日~4月17日(終了)
Round3：宮城県・スポーツランドSUGO／5月7日~5月8日(終了)
Round4：大分県・オートポリス／8月6日~8月7日
Round5：福島県・エビスサーキット南コース／8月20日~8月21日
Round6：静岡県・富士スピードウェイ／10月22日~10月23日
Round7：アメリカ・アーウィンデールスピードウェイ／12月上旬
エキシビション：イギリス／シルバーストーンサーキット10月2日
エキシビション：アメリカ・アーウィンデールスピードウェイ／8月27日~8月28日
エキシビション：日本・東京近郊スタジアム／未定

●取材協力／マック ☎0296-57-4669 〈URL〉http://www.aeroparts.co.jp/